

お客様訪問

株式会社 吉谷 様

〒690-0001 島根県松江市東朝日町233-4

TEL 0852-23-2851

FAX 0852-23-2870

http://www.ystn.co.jp



写真左より、小村様、伊藤様、三島様、阿部様、船江様。ステキな笑顔と礼儀正しい対応で、人気上昇中。

数多く出した人には、年1回表彰される制度もある。社員皆、感謝の気持ちが芽生え、お互いに助け合いの精神が育っているそうだ。

環境整備

環境整備にも力を入れており、事務所内外がとてもきれい。毎朝、8時半から9時まで全員で社内外の掃除をすることになっている。掃除をしながら、周囲の環境に気を配り、気付きが生まれるのだ。そして、社員同士感謝の気持ちが芽生えてくる。

このような社員教育を通して、人間性を磨く。そして、経営理念である、「消防機材設備の販売サービスを通じて、地域の安全確保に貢献、及び環境改善機材の販売サービスを通じて、地域の生活環境改善に貢献する」をめざしながら、地域に安心を提供しているのである。

まさに地元密着で、お客様から信頼される企業といえるでしょう。(聞き手長野)

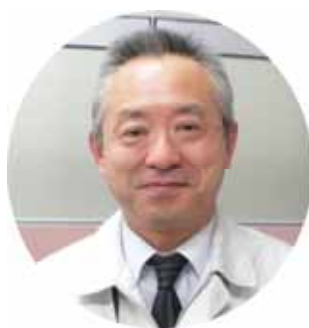


この道約二十年。一台一台がオーダーの消防ポンプ積載車を作っている、石川工場長。最近では材料が良くなり、立派な車輛が出来るそうです。職人技が光ります。(右写真)



左写真の車輛に上記写真のポンプが積載されます。

設立：昭和26年10月18日(創業 昭和26年4月)
業務内容：消防防災機材、消防設備設計・施工・点検、通信設備設計・施工、環境改善機材、安全保護具
* 県内全ての消防署に消防車輛、ポンプ等を納められ、また消防設備の設計・点検は県内随所で行われており、県下の消防設備会社です。



お話を伺った、伊藤常務。「活力朝礼を通して、気付きと感謝の気持ち、明るく朗らかな社員を育てる教育をしています。これからも社会に貢献できる会社でありたい」

活力朝礼

玄関を入ると、受付の女性ほか、事務所におられた女性社員全員に、「いらっしゃいませ」と元気な声で迎えていただいた。この礼儀正しさと元気の良さは、活力朝礼にあるようだ。

活力朝礼とは、職場に活力を生む朝礼のことで、6月に第1回活力朝礼コンテスト(島根県倫理法人会主催)が開催され、県内9事業所が参加し、株式会社吉谷様は最優秀賞に輝いた。社員全員の意識が高く、挨拶、声の大きさ、姿勢など仕事にも好影響をあたえている。

朝礼では、「職場の教養」という倫理本の感想も発表する。自分の考えを簡単明瞭にまとめる力もついてくる。そういった地道な活動も社員教育の一端となっている。

また、社員教育の一環で、毎週水曜日、朝礼前の45分間、早朝勉強会が開催される。これは自由参加で強制力はないが、ほとんどの社員が出席するそうだ。内容は、社員がテーマをきめて、自主的に行われる。メーカーから担当者呼んで、新商品の説明を聞いたり、工事の安全教育、「致知」を読んで感想を発表する等々。お客様から、商品についての問い合わせが多く、とても役立っている。また、感想を発表するのは、自分の考えをまとめることで、文章をつくる力がつくということで、評価される。

「だんだんカード」

出雲弁でありがとうをだんだんという。社員同士、いつも感謝の気持ちをもって、ありがとうが出来る社内風土だ。ありがとうの気持ちを「だんだんカード」に記入するようになっている。「だんだんカード」を数多くもらった人、また、



大丈夫やで～ばあちゃん助産師のお産と育児のはなし～を読んで

妊娠から出産、乳児の育児は初めてだと、いつも不安や戸惑いがつきまといま。そんな時期にこの本に出会えると、きっといい出産ができるだろうと思いました。

私が妊娠をしたときは、いわゆる「育児書」は読みませんでした。余るほどの情報は時に私に不必要なものもあり、まだ経験もしないうちに余計なことはしないという気持ちで。出産までが順調であれば、あとは産むだけ。そして赤ちゃんを育てるには授乳とお世話をしっかりすること。私も助産師さんからそのことを教えてもらいました。

四千人もの赤ちゃんを取り上げ、自らも出産と子育てを経験したばあちゃん先生の話は読んでいて「そうそう」「やっぱりねえ」と思うことばかり。決して難しいことは言っていないく、「楽しんでいい」「思うままでいい」と後ろからポンッと背中を押してくれるようなあったかい話。ギスギスした今の世の中をも暖かいもので包んでくれる、そんな話です。(足立)



作業現場を見学して

10月24日に工事部の地下タンク清掃及び漏洩検査の作業現場を見学させて頂きました。

地下タンクの形状も用途も全く無知な私にとってこの見学は驚きの連続でした。「見えない地下に大きなタンクが存在し、そのタンク内に実際に人が入って清掃・点検をする...」タンク内は油が入っていたので臭いもきつく、足場の悪いところでの作業は、危険も多く慎重で大変な作業であることが確認できました。

また、作業されている人を見ていて経験なくしては出来ない、チームワーク・手際の良さ、上手な時間配分と、見習うべきところが沢山あり、また感激しました。どんな仕事でもひとりではなく、誰かと必ず連携をとっています。その大切も改めて感じる事が出来ました。

事務所内で仕事をしていると実際の現場を見る機会はなかなかありません。今回機会を作って頂いたことで、今まで電話を受けていて疑問に思っていた単語や内容にイメージが浮かぶようになりました。

機会を作って頂いたこと、質問に細かく答えてくださった方々に感謝です。ありがとうございます。(森廣)



一斉清掃の実施

会社周辺と構内のごみ拾いのあと、溝掃除を行いました。汚泥や枯れ葉が溜まってくるので、定期的に掃除をする必要があります。

また、油水分離槽の点検も同時に行われました。汚泥を取り除き、きれいになりました。(長野)



普段人目につかないところもきれいになりました。

元気の出る言葉

中村天風師



笑顔は、万言にまさる
インターナショナルサインだよ
笑う門に福来ると言われるように
笑顔のあるところには、良いことが
起こりそうな予感がします。
例えば、挨拶するときニコツと笑って
会釈でもすれば、たちまち相手とうち解
けることが出来ます。
人生楽しく生きるためにも笑いを忘れて
はなりません。(長野)



晩秋の大山の風景。江府町から大山南壁を眺めています。柿の木と茅葺き小屋が秋の風情を醸し出しています。12月上旬には、初冠雪があるでしょう。

ぼくのお姉さん

丘修三作 偕成社文庫刊



障害を持つお姉ちゃんが、初めてもらった給料で家族にご馳走する物語。

お姉ちゃんはダウン症という障害者。十七才なのに、満足にひらがなさえ読めない。自分の名前しか書くのがやっと。数の計算はまるでだめ。お金のつかいかたもわからない。そのうえチビ、デブ、ブスの三拍子。そんなことで、お姉ちゃんには弟が自慢できるところが一つもない。

そんなお姉ちゃんが福祉作業所で働いてもらった初めての給料で、レストランで家族に夕食をご馳走した。勘定書きには五千二百円。しかしお姉ちゃんの給料袋には、千円札がただの三枚しかない。

楽しい食事が終わった。お父さんはお姉ちゃんに勘定書きと給料袋を渡して、「ひろのお給料だ。ひろが払っておいでよ。」食事代を払う栄誉を、お姉ちゃんに与えた。お姉ちゃんは意気揚々レジへ向かった。

「あい！」と勢いよく差し出したお姉ちゃんの手には、三枚の一万円札が握られていた。いつの間にかお父さんが一万札に差し替えていた。

それからは、お姉ちゃんを通じて家族がもっと強い絆に結ばれた。そんな物語です。(山根)

ちょっといい話 21

横地社員が、島根トヨペット(株)松江店様に廃油収集に行ったときのことで。たまたま勝部社長が作業の様子をご覧になり、「いつもキビキビ動いてきれいにしてくれる」と、我が社の山根社長に対して、横地社員のことをほめていただきました。皆さんに気持ちよくオイル交換をしていただけるよう、いつもきれいに掃除していきます。それにしても勝部社長の慧眼(けいがん)は素晴らしい…。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、**新春の和菓子**です。締切は12月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 来年の干支は「タツ」ですが、「辰」また「竜」が入った、ことわざを1つ答えてください。



先月号の答は、「神在月」でした。抽選の結果、米子市 渡部様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷: 授産センターよつば 印刷係
ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

蔵書新着状況

・大切なこと	松下幸之助	PHP研究所
・もっと大切なこと	松下幸之助	PHP研究所
・幸福なる人生	中村天風	PHP研究所
・致知12月号		致知出版社

編集後記

最近、我が家の庭のしいたけのほだ木から、小さなかさが出た。晩秋といえど、少し暖かかったのでしいたけが勘違いをしたのだろうか。予想外の出来事にとてもうれしかった。この暖かさのおかげで、各地でツツジやサクラが咲いたりしているようだ。また、里山の紅葉が今頃になって美しく目に映るようになった。師走に入り、気ぜわしいなかにも、季節感を感じ、ほっとする。松江名物、津田カブの収穫が始まったようだ。農家の人たちが、家族総出で収穫をしていた。鮮やかな赤紫色の勾玉の形をした、津田カブは冬の風物詩だ。初冬を実感したひと時だった。(長野)



原稿を公募します 本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。



2011
12月
Vol.223



『感動』

技術を伝えるということ

日鉱日石エネルギー株式会社広島油槽所が閉鎖されるに伴い、10月4日から11月12日まで、タンク清掃および配管油抜き作業を行った。

リーダー岸本課長と福島シニアマネージャーのもとに配属されたのは、新人の清水、勝部両社員だ。油槽所が減少していく中で、このような機会は貴重だ。ぜひこの機会に、若い人たちへ技術を伝えたい。そんな熱い思いからだった。

1ヵ月半という長丁場だったが、現場でベテランから新人社員への教育が熱心に行われた。新人社員二人は貪欲だった。毎朝のKYミーティング、毎夕の打ち合わせ等、先輩社員や現場の方々にいろいろな知識や情報をいただき、それを吸収し実践していった。来年2月には解体工事が行われるが、リーダー岸本課長ほか新人社員も立ち会いを予定している。

広島油槽所の岩本所長様から、技術の伝承教育を高く評価していただき、当社の施工内容にも満足していただいたことは、大きな励みと言えるだろう。

これからも、「若い人たちに技術の伝承を」である。



現場作業員からひとこと

勝部社員:
初めての油槽所作業で、初めて行う作業が多く苦戦したが、先輩から教えてもらい作業の順序や危険予知が以前よりもできるようになった。また、先輩から、油槽所の構造、設備などいろいろな知識も得ることができた。また、今回のような大きな現場での作業を経験したことで、自信が持てるようになった。

清水社員:
先輩より配管の油抜き等を指導してもらった。厳しく、時に笑いありで抜群のチームワークだった。毎朝KYミーティングを実施し、毎日安全作業をすることができた。



皆さんに気持ちよくトイレを使っただけのように、毎日掃除させていただいた。

福島シニアマネージャー:
13基のタンク清掃と多種の油を同時に扱う作業で、毎日緊張の連続だった。自分は今まで何回も経験してきたが、体力的に厳しい日もあったが、皆が協力してくれた。若い二人がよく働いてくれ、自発的にトイレ掃除もして皆さんに喜んでいただいた。

岸本課長:
今までの所、工程通り、無事故で安全な作業が出来、安心している。途中から他業者も入り、より神経を使ったが岩本所長の配慮で施工しやすく、感謝している。また、工期途中、島根から廃油回収にきてもらい、大変助かった。解体工事時には、立ち会い、安全を確認します。

毎朝KYミーティングを行い、危険な作業、工具や機器の扱い方を学んだ。



自分の良いところをもっと伸ばす

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

「社員は自分の良いところをもっと伸ばす」が今期の基本方針の一つです。その良いところで社内ナンバーワンに成長する。そして過去の自分よりどれだけ成長したかを、自分の成長の基準にして欲しいのです。

「通勤・無事故、無違反 一番！」を立てた石橋社員は、入社以来31年の長きにわたって、自宅から片道60km以上の距離を約1時間20分かけて、安全に通勤している。そして会社から東は鳥取、西は益田、そして広島県の三次にまでのお客さまに安全運転で向かう。

「掃除 一番！」を掲げた高橋社員は、気持ちよくお客さまに会社の玄関を開けていただこうと、寒い朝でも毎朝玄関のガラスを磨く。その上、彼は初めての経験である化学を克服するために、産業技術センターで分析技術を学び、再生油の品質基準化のためのデータをコツコツと集積し始めた。

「時間厳守 一番！」をモットーとする長谷川社員は、誰よりも早く出勤するや、直ちに車両の整備、点検を終える。そして益田や浜田のお客さまとの約束を

守るために、時間の余裕を持って発車する。時間を守ることでお客さまからのご信頼を勝ち取る。

彼たちばかりでなく、他の社員も「私はまず、これで一番になります！！」と自分の良いところを伸ばすことを始めてくれています。この「自分の良いところを伸ばす」「過去の自分より一段階づつレベルアップする」ことが重要です。

なぜなら自分の良くないところを伸ばすのは容易ではありません。それを苦心して改めるには、大きいエネルギーと時間が必要です。

また他の社員と比較して、自分のほうが優れていると勝ち負けを決め、優越感にひたる。逆に自分は負けたといってストレスや劣等感を溜め込む。このように周りの人と比較して優劣や勝敗を考える生き方は、健全な生き方にはなりません。

それより自分の良いところを伸ばすことを毎日の習慣にし、それを集中して続ける。やがて継続することでその人に力が蓄えられる。そして毎日継続を積み重ねると、自己ベストが実現します。

私はこう考え、こう実行します

【安原】社員の良いところを見つけて、もっと伸ばすにはどうすればよいか一緒に考えます。

【松下】「お客様訪問一番」を目指します。

【河上】「安全一番」

【福島】根気よく人財育成に努める。

【岸本】今まで通り毎日日報メールで送り、報・連・相を継続する。

【福岡】産廃契約の理解度一番になる。

【木村】「健康一番」

【大國】継続しやり遂げる。

【吾郷】名刺配布一番を実行し自分の名前をお客さまにより多く覚えていただく。

【木村憲】私は年頭の決意をもう一度見返し、残り一ヶ月決意通りに行動する。

【山口】私は清掃一番を目指します。

【石橋】営業、通勤とも無事故で頑張ります。

【榎並】目標を達成させる為に進捗管理を確実に実行します。

【岡田】自分の得意分野を伸ばし、もっと説明上手になります。

【長谷川】「継続は力なり」でがんばります。

【横地】やるべきことは手を抜かず、横着せずに「当たり前」の様にちゃんとする」を実行します。

【植尾】「FRP施工技術一番」

【松本】今やるべきこと、出来ることを進んで行動しベストを尽くします。

【小村】日々努力していく。

【高橋】私は、冬期バイオ再生重油実験と分析測定を継続して実施します。

【岩本】「データの正確さ一番」を実行していきます。

【藤原】「掃除一番」

【勝部】「安全作業一番、笑顔一番」

【森廣】お客様に信頼していただけるよう電話対応を丁寧に

します。

【藤原】挨拶一番になるため、だれよりも大きな声で挨拶します。

【金森】自分の良いところを見つけて、伸ばしていく。

【大内】「健康一番」

【清水】「努力一番」

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し安全作業が出来るよう、常にチェックし作業を実行します。

【足立】親切な対応、丁寧な言葉遣いで「電話対応一番」を目指します。

【長谷川真】決めたことが習慣付けられるよう頑張ります。

【長野】読書感想文一番を目指し、毎月いろいろなジャンルの本を読破していく。



和紙の原料になるミツマタのつぼみ。3月から4月頃開花します。



新入社員紹介

工事部に藤原さん、エネルギーサポート事業部に金森さんを迎え、新入社員教育を行いました。初日は、当社の会社理念から始まり、安全教育、あいさつとマナー、社内のルール等を学び、2日目は各事業部署での業務内容について、説明を受けました。3日目からは、各部署ごとにカリキュラムを組んで研修を受けていくこととなります。全ては、「周りからお客様から、素晴らしいといわれる社員を育てる」ためです。

早く即戦力となれるよう、先輩社員から助言を受け、成長してほしいと思います。

(長野)



映画鑑賞が趣味の藤原です。業務に関して責任ある会社だと思います。

バスケットボールとスノーボードが趣味の金森です。地域に役立つ仕事だと思います。収集・運搬の仕事に興味を持ちました。読書感想文を書くことに驚きました。スポーツものを読んでいます。

【藤原社員】改めて、挨拶の大切さを感じました。大きな声でハキハキと挨拶をすることにより、よい印象を持っていただき、お客様と信頼関係を築きます。また、業務でオイルを扱いますが、危険物を扱っているという認識を持って、業務にあたります。

【金森社員】河上部長の安全教育を受講し、「腕よりも心で運転」という言葉が印象に残っています。これからは、危険物を運搬するので、危険予知をし、事故を事前に防ぎます。実際に廃油収集業務をしてみて、ホースの扱いが難しくて一番悩みました。早くホースの特性を覚え、ホースを安全に扱えるようにします。また各現場によって、お客様の状況を考え、臨機応変に無駄なく作業できるようにしていきます。



安全講習

車の冬じたく

山陰地方の冬は、積雪が多く、道路が凍結することもしばしばあります。車輛を使う場合、スノータイヤ無しでは仕事できません。そろそろ、スノータイヤに交換し、チェーンも準備しておきましょう。年に1回から2回はタイヤにチェーンをまくことがあるかもしれません。

いざというときに困らないために、一度自分でチェーンをかける練習をしておくといでしょう。



車の冬じたくで、チェーンのかけ方を学びました。今まで、かけた経験がなかったので、今後自分一人で出来るように練習します。(藤原)



今月の工場改善...

安全作業のために

ボイラーのオイルポンプが損傷し、交換しました。

また、外気温が下がってきたので、工場の設備を冬仕様に変更しました。寒くなると、油の粘度があがり、噴霧状況が悪くなり、ヒーターで温めないといけなくなります。また、気温の低下によって、ボイラーのエア調整も必要になってきます。気温の季節変動に合わせて、工場を効果的に稼働させていきます。

(木村)



交換したオイルポンプ